

階(IS)> ^ <看護単位(IS)> ^ <病室(IS)> ^ <ベッド(IS)> ^ <場所の詳細(ST)> ^ <場所の状態(IS)>。

PT 処理タイプ

Components: <processing ID (ID)> ^ <processing mode (ID)>

このデータ型は、HL7アプリケーションがHL7メッセージの処理をするべきか否かを示す。

処理IDで、メッセージが生成、訓練あるいはシステムデバッグかどうか定義する値。有効な値については「HL7テーブル0103-処理ID」を参照すること。処理モードで、メッセージが文書累積の処理あるいはイニシャルロードの一部かどうか定義する。有効な値については「HL7テーブル0207-処理モード」を参照すること。

DT 日付

常に書式YYYYLLDDで表記、桁数により精度が規定される。 例: |19880704|

TS タイム・スタンプ

日付と時間を含む、イベントの正確な時間から成る。書式はつぎのようである。

YYYYLLDD[HHMM[SS[.SSSS]]][+/-ZZZZ]^<精度>

タイム・スタンプの日付部は日付フィールドの規則に従う。時間部は時間フィールドの規則に従う。表記する桁数により精度が規定される。すなわち、誕生日として使われるとき、HHMM部が省略されれば日付であり、HHMM部を0000とすると、まさに明けようとしているその日の真夜中(0時0分)になる。HL7コード化規則の中で使われる特定のデータ表記はISO 8824-1987(E)との互換性がある。オプションの精度は下位互換性のためにあり、その日時の精度を示す(Y = 年、L = 月、D = 日、H = 時間、M = 分、S = 秒)。例:

|17760704010159-0600| 1:01:59 on July 4, 1776 in the Eastern Standard Time zone.

|17760704010159-0500| 1:01:59 on July 4, 1776 in the Eastern Daylight Saving Time zone.

|198807050000| Midnight of the night extending from July 4 to July 5, 1988 in the local time zone of the sender.

|198807050000^D| Same as prior example, but precision extends only to the day. Could be used for a birthdate.(=|19880705|)

HL7規格では、すべてのシステムが日常的に時間帯オフセットを送るよう強く推奨するが、強制はしない。HL7システムではすべて時間帯オフセット受け入れる必要があるが、その実装はアプリケーションに任される。多くのアプリケーションの場合、関心ある時間はその発信者の現地時間である。たとえば、東部標準時間帯にあるアプリケーションが12月11日午後11:00にサンフランシスコで入院が発生したという通知を受けた場合、その入院を12月12日ではなくて(現地時間の)12月11日に発生したものとして扱うのがよい。

この規則における例外は、臨床システムが、互いに近くに存在しながら時間帯の異なる複数の病院で収集された患者データを処理する場合である。そのようなアプリケーションは、そのデータを共通の表記に変換することがある。同じような問題は、サマータイムとの切り替え時にも発生する。HL7は、情報の送信時に時間帯情報を含めるようにすることで対応する。しかし、ここで検討した処理のどちらを受信システムが採用するかは指定しない。

CM 複合フィールド

他の有意データ・フィールドと組合せるフィールド。それぞれの部分は成分と呼ばれる。CMフィールドの特定成分は、そのフィールド記述の範囲内で定義される。その他個別に識別される複合フィールドもあり、それについては以下に記述する。このデータ型の使用は発展的に解消し、独自のデータ型を新たに作成する予定である。

HL7フィールドの成分そのものが成分を含むHL7データ型である場合、その区切り文字は一ランク下位に落とされる。したがって、CEデータ型として示された成分は、<識別子&テキスト&コーディング方式名>としてコード化すべきである。HL7区切り文字は再帰的でないので、成分を含むHL7データ型は副成分となりえないことに注意。このレベルの詳細情報が必要な場合、HL7データ型の各成分は、別々の副成分としてコード化することができる。この例に関しては、タイミング/数量データ型のオーダーシーケンス化成分にある実施者オーダー番号のコード化方式を参照のこと。

CE コード化値

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <textテキスト (ST)> ^ <name of coding systemコーディング方式名 (ST)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text代替テキスト (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディング方式名 (ST)>

例：|54.21^Laparoscopy^I9^42112^^AS4|

|F-11380^CREATININE^I9^2148-5^CREATININE^LN|

このデータ型は、コード、およびそのコードと関連するテキストを送る。この型は、次に述べる通り、代替成分を含め6個の成分を持つ：

識別子： 後ろの<text>によって参照される項目を一意に識別する文字列(コード)。異なるコーディング・スキーマでは、異なる要素を持つ。

テキスト： 問題としている項目の名前または記述。たとえば、心筋梗塞とかX線撮影所見など。そのデータ型は文字列(ST)である。

コーディング方式名： コーディング方式には一意な識別子が割り当てられる。この成分は、識別子成分内で使われているコーディング・スキーマを識別するのに役立つ。識別子成分とコーディング方式名成分の組合せは、データに対して一意なコードである。ここに指定されるコーディング方式の例は、ICD-9、ICD-10、SNOMEDなどである。各方式には一意な識別文字列が与えられる。ここにHL7テーブルを使用する場合、HL7テーブル番号をnnnnとしHL7nnnnとして定義する。

代替成分： 3つの代替成分は、上記と同様、代替方式または現地コーディング方式を定義するためにある。代替テキスト成分が存在せず、代替識別子が存在すると、代替テキストはテキスト成分と同じであると解釈される。代替コーディング方式成分が存在しない場合、それはローカル定義の方式であると解釈される。

注記： このデータ型では2組の等価コードを表現しているが、それはCE型フィールドの反復とは意味が違っている。反復を用いる場合は、いくつかの明瞭なコード(明瞭な意味を持つコード)を送信するのが普通である。

CK チェック・ディジット付き複合ID

Components:<ID number ID番号 (NM)> ^ <check digitチェックディジット (NM)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックディジット方式 (ID)> ^ < assigning authority割当権限者(HD)>

このデータ型は、たとえばPID-3-患者ID(内部ID)など、通常チェック・ディジットを含むフィールドで使われる。現場で、あるCKフィールドにチェック・ディジットを使っていない場合、第2、第3成分はNullである。

このデータ型のチェックディジットは、メッセージ処理システムが追加生成するわけではない。それは、送信アプリケーション内で使われる識別番号に含まれる。送信アプリケーションが識別番号内にチェックディジットを含まない場合、この成分はnullとすべきである。

チェックディジット方式は、テーブル0061 - チェックディジット方式で定義する。

テーブル0061 チェックディジットスキーマ

値	記述
M10	Mod 10 アルゴリズム
M11	Mod 11 アルゴリズム

例： |128952^6^M11^ADT01|

Mod10チェック・ディジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り

あなたが識別子=12345を持つと仮定する。右側から数えて奇数桁、つまり531を考える。この数を2倍して1062を得る。右から数えて偶数桁、すなわち42を取り、これに1062を付けたして421062を得る。この数字の6桁すべてを加算して15を得る。15の次に大きい10の倍数からこの数を減ずる、つまり20-15により5を得る。これがMod10である。401の場合のMod10チェック・ディジットは0である；9999の場合は4である；99999999の場合は7である。

Mod11チェック・ディジットを計算するためのアルゴリズムは以下の通り

用語

d = 1の位から始まり、以降10の位、100の位、... と続く各位の数字

w = 1の位から始まり、以降10の位、100の位、... と続く各位の重み。Wの値は2、3、4、5、6、7、2、3、4、5、6、7、... と続く(6桁単位で繰り返す)

c = チェック・ディジット

計算

(ステップ1) m = 1の位から開始し、それぞれの位について計算した(d * w)の合計

d = 1の位から最高桁の位までの各桁の数字

w = 1の位から始まり、6桁単位で繰り返す2から7までの各桁の重み

(ステップ2) $c1 = m \text{ mod } 11$
 (ステップ3) $c1 = 0$ の場合は $c1 = 1$ に置き換える。
 (ステップ4) $c = (11 - c1) \text{ mod } 10$

例: if the number is 1234567, then the mod 11 check digit = 6

計算は以下の通り

$m = (7*2)+(6*3)+(5*4)+(4*5)+(3*6)+(2*7)+(1*2)$
 $= 14 + 18 + 20 + 20 + 18 + 14 + 2$
 $= 106$

$c1 = 106 \text{ mod } 11$
 $= 7$

$c = (11 - c1) \text{ mod } 10$
 $= 4 \text{ mod } 10$
 $= 4$

上記以外のチェック・ディジットは、現地双方の取り決めにより使うことができる。

CX チェックデジット付拡張複合ID

Components: <ID (ST)> ^ <check digitチェックデジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックデジット方式 (ID)> ^ <assigning authority割当権限者 (HD) > ^ <identifier type code IDタイプコード (IS)> ^ <assigning facility割当施設 (HD)

例: |1234567^4^M11^ADT01^MR^University Hospital|

ID: CKデータ型と同様、ただしSTデータ型がNM・データ型の代わりに許可される。

チェックデジット: CKデータ型と同様、ただしSTデータ型がNM・データ型の代わりに許可される。このチェックデジットはメッセージ処理で追加されるものではなく、送信アプリケーションの中で使用される識別番号の一部である。送信アプリケーションが識別番号中にチェックデジットを含んでいない場合、この値はヌルであるのがよい。

識別子タイプコード: 識別子のタイプに対応するコード。ある場合には、「割当権限」成分への修飾語としてこのコードを使用してもよい。

使用者定義テーブル0203-識別子タイプ

Value	Description	Value	Description
AM	アメリカン・エクスプレス	MA	メディケイド番号
AN	勘定番号	MC	メディケア番号
BR	出生登録番号	MR	医療記録番号
DI	ダイナースクラブ・カード	PI	患者内部ID
DL	運転免許証番号	PN	個人番号
DN	医師番号	PT	患者外部ID
DS	ディスカバー・カード	RR	鉄道退職番号
EI	従業員番号	SS	社会保障番号
EN	雇用者番号	UPIN	メディケア/HCFAの汎用医師ID
GI	保証人内部ID	VS	ビザ
GN	保証人外部ID	VN	訪問回数
MS	マスターカード	XX	組織ID

XCN 拡張複合IDと名前

Components: <ID numberID番号 (ST)> ^ <family name姓 (ST)> ^ <given name名 (ST)> ^ <middle initial or nameミドルネーム (ST)> ^ <suffix接尾辞 (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix接頭辞 (e.g., DR) (ST)> ^ <degree学位 (e.g., MD) (ST)> ^ <source tableソーステーブル (IS)> ^ <assigning authority割当て権限者 (HD)> ^ <name type code名前タイプコード (ID)> ^ <identifier check digitチェックデジット (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employedチェックデジット方式 (ID)> ^ <identifier type code識別タイプコード (IS)> ^ <assigning facility割当て施設 (HD)>

コード値およびテキスト名により人物を識別するフィールド。第1成分は、第8の成分で示されるテーブルに従ったIDである。第2成分から第7成分は人物名を表すPNフィールドである。第8成分は、第1成分で使われるソース・テーブルを指定する。特定の現場では、それぞれの現場でIDまたは名前を省略することができる。名前タイプコードについては、XPN-拡張人名を参照。識別タイプコードは使用者定義テーブル0203-識別子タイプ」を参照すること。

例: |12372^RIGGINS^JOHN^""^""^""^MD^ADT1|
 |12372|
 |^RIGGINS^JOHN^""^""^""^MD|

[1234567 ^ Smith ^ John ^ J ^ III ^ DR ^ PHD ^ ADT01 ^ ^ L ^ 4 ^ M11 ^ MR]

XAD 拡張住所

Components: <street address町名 (ST)> ^ <other designation他の表示 (ST)> ^ <city都市 (ST)> ^ <state or province州あるいはプロビンス (ST)> ^ <zip or postal code ZIPあるいは郵便番号(ST)> ^ <country国 (ID)> ^ < address type (ID)> ^ <other geographic designation他の地理的な表示 (ST)> ^ <county/parish code郡/教区コード (IS)> ^ <census tract国勢調査標準地域 (IS)>

例： |1234、 Easy St. ^ Ste. 123 ^ San Francisco ^ CA ^ 95123 ^ USA ^ B ^ ^ SF ^ |
 他の表示では町名を修飾する。例： Suite 555あるいは4階など。住所・タイプはオプションであり、HL7テーブル0190住所・タイプによって定義される。他の地理的な表示は国、バイオリージョン、SMSAなどを含んでいる。

XPN 拡張人名

Components: <family name姓 (ST)> ^ <given name名 (ST)> ^ <middle initial or nameミドルネーム(イニシャルも可) (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) 接尾辞(たとえばJR) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) 接頭辞(たとえばDR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) 学位(たとえばMD) (ST)> ^ <name type code名前タイプ (ID)> ^ <name representation code名前表示コード (ID)>

上にリストしたように、名前は複数のフリーテキスト成分から成る。送信システムは大文字と小文字の混合、またはすべて大文字を送ることができる。必要なら、受信システム側ですべて大文字に変換してもよい。名前型コードで法律上の名前や現地名などを示す。取りうる値はHL7テーブル0200名前タイプを参照。一般的に法的な名前は現在の既婚の名前と同じである。名前表現コードでは、データ項目によって提供される名前の表現を指示する。この成分は受信者にヒントを提供する。それにより、なにが送られており、なにを表示できるかに関する選択を行うことができる。

例： |Smith^John^J^III^DR^PHD^L|
 |日本^太郎^^^^^D^I-にほん^たろう^^^^^D^P~ NIHON^Tarou^^^^^D^A|

テーブル 0200 - Name type code 名前タイプコード (ID)

Value	Description
A	Alias Name 別名
L	Legal Name 法律名前
D	Display Name 表示名称
M	Maiden Name 旧姓
C	Adopted Name 養子名

テーブル 4000 - Name representation code 名前表示コード (ID)

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイト英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc) 表音文字(ASCII,仮名)

XTN 拡張電話番号

Components:[NNN国番号] [(999地域)]999局番-9999番号 [X99999] [B99999] [C any text] ^ <telecommunication use cod通信使用コードe (ID)> ^ <telecommunication equipment type通信機器 (ID)> ^ <email address電子メール (ST)> ^ <country code国番号 (NM)> ^ <area/city code地域市外局番 (NM)> ^ <phone number電話番号 (NM)> ^ <extension内線番号 (NM)> ^ <any text (ST)>
 例： (415) 555-3210 ^ ORN ^ FX ^

テーブル0201通信使用コード

Value	Description
PRN	主要な自宅番号
ORN	他の自宅番号
WPN	勤務先番号
VHN	別荘番号
ASN	留守電話応答サービス番号
EMR	緊急番号
NET	ネットワーク(電子メール)アドレス
BPN	ポケットベルの番号

テーブル0202-遠隔通信機器タイプ

Value	Description
PH	電話
FX	ファックス
MD	モデム
CP	携帯電話
BP	ポケットベル
INTERNET	インターネットアドレス：通信使用コードがNETである場合のみ使用
X.400	X.400電子メールアドレス：通信使用コードがNETである場合のみ使用

注：成分5～9は、定形の形式で第1の成分の基本機能を反復する。そしてローカルおよび世界の電話番号の両方が表現できる。電話番号のための形式は、定形形式を使用することを推奨し、第1の成分は下位互換性のために残される。

TQ タイミング数量

サービスの実施時期とその頻度を指定する。 6.3 数量/タイミング定義を参照のこと。

6.3 QUANTITY/TIMING (TQ) DEFINITION 数量/タイミング定義

Components: <quantity数量 (CQ)> ^ <interval時間間隔 (CM)> ^ <duration継続時間 (ST)> ^ <start date/time開始日時 (TS)> ^ <end date/time終了日時 (TS)> ^ <priority優先度 (ST)> ^ <condition条件 (ST)> ^ <textテキスト (TX)> ^ <conjunction連結 (ST)> ^ <order sequencingオーダーシーケンス化(CM)>

定義：数量/タイミング(ORC-7,OBR-27)は、オーダーセグメントによって述べられたサービスがいつ、どのような頻度で行なわれるかを規定する手段を与える。それは、繰り返しを持つことができる複合多重成分フィールドである。すなわち複数回の数量/タイミング指定が、反復区切文字で分離されて表現される。数量/タイミング指定の成分を、以下に述べる。

Quantity component 数量成分 (CQ)

副成分：<数量&単位>

定義：各々のサービス間隔で供給される必要があるサービスの量。たとえば2つの血液培養が4時間毎に得られるとすれば、数量が2である。もし3ユニットの血液が血液型を調べクロスマッチされるならば、数量は3である。デフォルト値は1である。単位が要求される時、後ろの成分で限定するものによって明示され加えられる。

Interval component 時間間隔成分 (CM)

Subcomponents: <繰り返しパターン&明確な時間間隔>

定義：繰り返されるサービスの時間間隔を決める。デフォルトは1回のみである。第1副成分は繰り返しパターンである。第2副成分はパターンが実行される明確な時間である。

Repeat pattern繰り返しパターン

使用者定義テーブル 4001 - Repeat pattern 繰り返しパターン

Q<integer>S	every <integer> seconds秒毎
Q<integer>M	every <integer> minutes分毎
Q<integer>H	every <integer> hours時間毎
Q<integer>D	every <integer> days日毎
Q<integer>W	every <integer> weeks週毎
Q<integer>L	every <integer> months (Lunar cycle)月毎
Q<integer>J<day#>	特定の曜日に繰り返す。Jはフランス語のjour(day)から。もし<整数>がないならば、繰り返しレートは1と仮定する。日付の番号は、1=月曜日から7=日曜日までカウントする。それゆえQ2J2は第2火曜日毎、Q1J6は、土曜日毎を意味する。
BID	1日2回、施設が決めた時刻(たとえば、9AM-4PM)
TID	1日3回、施設が決めた時刻(たとえば、9AM-4PM-9PM)
QID	1日4回、施設が決めた時刻(たとえば、9AM-11AM-4PM-9PM)
xID	1日"x"回、施設が決めた時刻、Xは数字5より大。(例えば5ID=一日5回、8ID=一日8回)

注：上記の4つの指定はいずれもそのQ<整数>H対応と同等ではない。たとえばQIDは、Q6Hではない。前者は不等間隔に置かれる；後者は等間隔に置かれる。

QAM	朝に、施設が決めた時刻に。
QSHIFT	3回の8時間シフトの各々の間で、施設が決めた時刻に。
QOD	隔日(Q2Dと同じ)
QHS	毎日就寝前に。
QPM	夕方、施設が決めた時刻に。
C	サービスの提供は連続的に初めの時刻から終わりの時刻まで
U <spec>	スペック) 将来使用のため。<スペック>がUNIXのクローンで定義された時間隔仕様である場合。
PRN	必要に応じて与えられる。
PRNxxx	xxxがなんらかの頻度コード(たとえば、(PRNQ6H))；必要に応じて頻度期間にわたって与えられる。
Once	一度だけ。これは、この成分がnullである時、デフォルトである。

Explicit time interval subcomponent明確な時間間隔の副成分

定義：次の書式において、第1副成分のコードによって参照された実際の時刻を明確にリストする：HHMM,HHMM,HHMM,...。この第2副成分は、実際の投薬時刻が施設内で変化する場合等、第1副成分を明らかにするために使用される。オーダーの期間が1日を超えるならば、この新しい副成分が実際に役立つのは次の場合に限る。すなわち同じ投薬時刻がオーダーの各々の日に対して発生する場合である。オーダーの実際の開始時刻(数量/タイミングフィールドの第4副成分によって与えられる)が、リストの最初の明確な時刻の後であるならば、最

初の投薬は、開始時刻の後の最初の明確な時刻とする。患者が明確な時間の異なったセットを持っている場所へ移動する場合、現在のオーダーは、変更された明確な時間を示している新しい数量/タイミングフィールドで更新される。

時刻は hhmm、就寝時は HS、食事に関係したタイミングは xCy で記述される。

x : A 前、P 後、I 間、 y : M 朝食、D 昼食、V 夕食

Ex: 数量/タイミングフィールドの第2成分 : ...^QID&0230,0830,1430,2030^...

1日3回食後 ^TID&PC

Duration component 継続時間成分

定義： サービスが開始された後で、サービスがどのくらい長く続くかを示す。デフォルトは、INDEF(不定)である。この成分は、以下の通りにコード化される：

S<integer>	=	<integer> seconds 秒
M<integer>	=	<integer> minutes 分
H<integer>	=	<integer> hours 時間
D<integer>	=	<integer> days 日
W<integer>	=	<integer> weeks 週
L<integer>	=	<integer> months 月
X<integer>	=	オーダーで指定された時間間隔成分の繰り返し回数。
T<integer>	=	明記されている時間間隔と量で、合計の<整数>『DOSAGE』が蓄積されるまで。単位は、「数量」フィールドにおけると同じであると仮定される。
INDEF	=	期間を特に定めない(不定)-同様にデフォルト

Start date/time component 開始日時成分 (TS)

定義： 依頼者によって規定される。その場合それはサービスを開始する必要がある最も初めの日時を示す。多くの場合、しかしながら、開始日時は、オーダーレコード(たとえば、(緊急)-STAT)の他のフィールドによって示唆されるか、あるいは定義される。そのような場合、このフィールドは空となる。

実施者サービスは、オーダーを受領後このフィールドの値をしばしば記録する。一方実施サービスの内部使用のために、開始日時を基礎にして終了時刻を計算する

End date/time component 終了日時成分 (TS)

定義： サービスを要求する人によってこの値が指定された時は、このフィールドはサービスが行なわれるべき最後日時である必要がある。ここで明示された時間までに行なわれなかったならば、それは行うべきではない。要求する人がこの値を満たすとは限らない。しかし実施者サービスは、それが受け取る指示および実際の開始時間を基礎として、満たしてもよい。終了日時の値に関係なく、サービスは、継続時間または終了日時によって指定された最も早い日時に終了すべきである。

Priority component 優先度成分 (ID)

定義： 要求の緊急度を述べる。次の値が提案される(優先度のデフォルトはRである)：

S	=	緊急	最も高い優先度で
A	=	できるだけ早く	Sオーダーの後
R	=	ルーチン	デフォルト
P	=	術前	
C	=	返信	
T	=	タイミングがクリティカル	要求は、要求された時間に最も近いことが重要であるという意味である。たとえば、抗生物質血中濃度である
PRN	=	As Needed	

値『T』(タイミングクリティカル)の程度は次のように明示できる：

Format:

TS<integer>	=	秒以内で
TM<integer>	=	分以内で
TH<integer>	=	時間以内で
TD<integer>	=	日以内で
TW<integer>	=	週以内で
TL<integer>	=	月以内で

オーダーの連続指定の場合、これらの値は、先行オーダーから後に続くオーダー全部に対してタイミングの重要性を規定する。優先度成分を反復する場合はスペースで区切る。

Condition component 条件成分 (ST)

定義： これは、投薬条件を記述するフリー・テキストフィールドである。たとえば、「PRN

pain)、「血圧を110以下に保て」など。このフィールドにテキストが存在する場合、投薬方法または投薬時期(あるいはその両方)を決定するため人間が見直す必要がある。

注(処方) 頓用指示を行う場合、時間間隔成分および優先度成分に 'PRN' を設定し、次の表のテキストを条件成分に設定する。

表6.3.1 MERIT-9 処方オーダ Ver.1.1 表5.頓用指示

投与条件	テキスト
検査時	PRNLts
頭痛時	PRNheadache
疼痛時	PRNpain
歯痛時	PRNteeth pain
発熱時	PRNfever or PRNfebrile
胸痛時	PRNchest pain
腹痛時	PRNabdominal pain
不眠時	PRNinsomnia
不安時	PRNanxiety
いらいら時	PRNnervous
めまい時	PRNdizziness or PRNvertigo
かゆいとき	PRNitching
発作時	PRNattack
便秘時	PRNcostipation
下痢時	PRNdiarrhea
嘔吐時	PRNvomiting
咳き込み時	PRNcough
空腹時	PRNhungry
血圧上昇時	PRNhigh BP
亡尿時	PRNauria
多尿時	PRNpolyuria

Text component テキスト成分 (TX)

定義： 指示(オプション)の完全なテキストバージョン。

Conjunction component 連結成分 (ID)

定義： この成分がnullでなければ、反復区切り文字を使用して、2番目のタイミング指定を後に続ける。このフィールドは3つの値を採ることができる：

a) S = Synchronous 同期

今回の指定の後に次の指定を行う(ORC-4⁴-開始日時、およびORC-4⁵-終了日時成分により制限を受けなければ)。

"S" 指定は、最初のタイミング・シーケンスの後に2番目のタイミング・シーケンスが続くことを示す。たとえば、最初の1時間はQ15分ごとに血圧を測定し、次の日には2時間ごとに血圧を測定するよう依頼する。

b) A = Asynchronous 非同期

今回の指定と並行して次の指定を行う(ORC-4⁴-開始日時、およびORC-4⁵-終了日時成分により制限を受けなければ)。連結"A"により、投薬時などに散見される、2つの指示の並行指定が可能になる。たとえば、月曜、水曜、金曜にプレドニゾン1錠、火曜、木曜、土曜、日曜には1/2錠。

c) C = This is an actuation timeこれは開始時間である

このコードの後にはサービスの終了時間が続く。このコードにより、サービスを起動すべき(採血など)時間・優先度から、サービスを終了すべき(結果報告など)時間・優先度が区別できるようになる。

連続サービスあるいは循環サービスの場合、サービスを実際に停止するポイントは、成分ORC-4⁵-終了日時またはORC-4³-継続時間の、どちらかより早い停止時間を示す成分により決定される。通常、この2つの成分のうち1つだけが存在する。しかし以下のような指定によりEKGを要求した場合は、反復数(3)のほうより早い停止時間を定義しているので、EKGは3日間だけ実施されることになる。

Order sequencing component (complex) オーダーシーケンス化成分

定義： 実際の現場ではさまざまな状態が想定される。たとえば、あるまとまった点滴(IV) 溶剤を要求するオーダーを作成した場合は、個々の点滴溶剤(各々それぞれが1個のオーダー) のシーケンスを指定する必要がある。

また、“PRN pain” などある種の結果条件がオーダー指示に含まれる、というような状態も考えられる。現在は、ORC-4-数量/タイミングのフリー・テキスト“条件”成分により任意の条件を指定することができる。しかし、完全にコード化したオーダー・シーケンスあるいは結果条件をサポートするために、次のパラグラフでORC-4-数量/タイミングの第10成分を定義した。

この第10成分のサポートするシーケンス化条件は、あるオーダーの終了に基づく。

第11成分以降は将来に備えた予約であり、オーダーの実行前に複数の条件を評価するよう指定するのに使用する。将来をにらんだこのような指定により、現在の数量/タイミング定義との上位互換性が保たれる。

注記： 第10成分が存在する場合、第7成分(条件成分)は、依頼のさいに表示されるテキスト“注記”とみなされる。すなわちシステムは、このテキストをシーケンス化指定の一部として解釈することはない。

シーケンスの副成分

シーケンス条件を定義するために、数量/タイミング・フィールド成分の第10成分は、図4-7に示す副成分に分割される

図 4-7. オーダー・シーケンスの副成分

Subcomponent	Contains	Notes
1	シーケンス/結果フラグ	Sはシーケンス状態; Cは循環, R は将来の使用のためリザーブしてある。
2, 3	依頼者オーダー番号	必須/オプション: 2つの副成分を使用する; 何故なら依頼者オーダー番号は2つの副成分を持つためである。HL7では副成分の副成分は定義していない。
4, 5	実施者オーダー番号	必須/オプション: 2つの副成分を使用する; 何故なら実施者オーダー番号は2つの副成分を持つためである。HL7では副成分の副成分は定義していない。
6	シーケンス状態値	許容状態値は、プロジェクト計画法で通常使用される形を持つ: <one of "SS", "EE", "SE", or "ES"> +/- <time>
		1文字目は先行オーダーの開始時間(S)又は終了時間(E)を意味する。先行オーダーは、副成分1、2又は3、4の依頼者又は実施者オーダー番号によって定義される。
		2文字目は後続オーダーの開始時間(S)又は終了時間(E)を意味する。この後続オーダーは、ここの数量/タイミング仕様を含むオーダーである。時間として、先行および後続の始まり又は終わりの間隔を指定する(下記に例を示す)。
		<時間>の定義: S<integer> <integer> 秒 M<integer> <integer> 分 H<integer> <integer> 時間 D<integer> <integer> 日 W<integer> <integer> 週 L<integer> <integer> 月
7	最大繰り返し数	最大繰り返し数が使用されるのは循環グループだけである。繰り返し総数は、最後の繰り返しの終わりの日付/時間又は親の終わりの日付/時間のうち、最初に来る方によって制約される。
8,9	依頼者オーダー番号、最後の2つの成分	要求/オプション: 依頼者オーダー番号の最後の2つの成分を含んでいる: 普遍的なID(ST)および普遍的なID・タイプ(ID)(それぞれ)。依頼者オーダー番号がEIデータ型であるので、2つの副成分を使用する。我々はHL7では副成分を定義していない。
10,11	実施者オーダー番号、最後の2つの成分	要求/オプション: 依頼者オーダー番号の最後の2つの成分を含んでいる: 普遍的なID(ST)および普遍的なID・タイプ(ID)(それぞれ)。依頼者オーダー番号がEIデータ型であるので、2つの副成分を使用する。我々はHL7では副成分を定義していない。

使用上の注意：以下を仮定する。

先行オーダーは、「ORC-4-数量/タイミング」の第10成分の副成分2と3において、依頼者オ

オーダー番号としてOE1000&OrdEntにより定義される。

後続オーダー、つまり今回のオーダーは、ORCセグメントに依頼者オーダー番号OE1001^OrdEntを持つ。

次のシーケンス条件値の意味を説明する。

- ES + 10M 「OE1000&OrdEnt(先行オーダー)の終了時間 + 10分」により、後続オーダー、OE1001^OrdEnt(今回のオーダー)の開始時間を定義する；つまり、先行オーダーが終了してから10分後に、このオーダーを開始せよ、ということ。
- SS - 10M 「先行オーダーの開始時間-10分」によりこのオーダーの開始時間を定義する。つまり、先行オーダーの10分前にこのオーダーを開始、ということ。

循環依頼者グループ

反復すべき循環オーダーがある場合、実行される最初のオーダーは、アスタリスク(*)で始まる“シーケンス条件値”を持つ。

Example:

- *FS+10M 第10成分に指定された条件を評価せずに、このオーダーを1回実行する。指定された外部オーダーの開始・終了日時がこの条件に合致したときのみその実行を繰り返す。このように指定すると、各サイクルでオーダーが1回反復される。

注記： オーダーを繰り返すには、依頼アプリケーションは、最初のオーダーの数量/タイミングを指定する際に、サイクル内の最終オーダーの依頼者オーダー番号を指定できなければならない。

親子パラダイムを使用して、4つのIVオーダーから成る循環グループを指定するには、親はIVのカスタム・グループを指定する。すると、以下のように処理が実行される。

2番目の子オーダーのORC-4-数量/タイミングは、それが1番目の子オーダーに続くことを示す。

3番目の子オーダーのORC-4-数量/タイミングは、それが2番目の子オーダーに続くことを示す。

4番目の子オーダーのORC-4-数量/タイミングは、それが3番目の子オーダーに続くことを示す。

4つの子オーダーから成るグループを循環的に繰り返すには次のように処理が実行される。:

1番目の子オーダーのORC-4-数量/タイミングは、この子オーダーが、他のオーダーが終了したかどうかとは無関係に、1度実行されることを示す。

この子オーダーが2回目に実行されるのは、4番目のオーダーが終了してからである。

このスキームにより、下記情報を追跡することができる:

親オーダーのレベルで返答すべきオーダー・グループ全体の状態。

対応する子オーダーの状態をフォローすることによって、IVオーダーそれぞれの状態。

個別のオーダー例: 同じグループのオーダーは、その数量/タイミング・フィールド内のデータによってのみ連携させることで、4つのオーダー(共通の親のない)を1グループとして送ることができる。この場合HL7では、グループ全体のオーダー状態をまとめて伝送する便利な手段がないので、4つのオーダーの個々の状態を別々に伝送するしかない。

オーダー状態の継承

キャンセル/中断/保留オーダー制御イベント:

ここでは、指定された先行オーダーが通常通り実行されることを想定している。したがって、先行オーダーのキャンセル(あるいは中断、保留)は、後続の関連オーダーすべてを取り消す(あるいは中断する、保留する)ことを意味する。

参照されているオーダーが取り消された(あるいは中止、保留された)場合、今回のオーダーはそれと同じ状態を継承する。

保留の場合、先行オーダーの保留を解除することは、その該当オーダーも解除するという意味である。(したがって、そのオーダーは第10成分内の指定にしたがって実行することができる。)

Examples of quantity/timing usage 数量/タイミングの使用例

3^once

指定時刻にサービスを実行する。たとえば、3単位の輸血を1回実行せよというオーダー。

1^QHSAX2

就寝時にサービスを2回実行する。たとえば、2夜連続、就寝時に1単位の輸血。

1^C^3D

3日間サービスを継続する。

1^Q1HAX4^PVCs>10/min

患者のPVCが毎分10を越える場合は、最大4回、1時間ごとにEKGを実行する。

1^Q2J^1432

毎週火曜日、午後2:32にサービスを実行する。

1^1111198911210800

11/21/89 0800前に検査を実行する。たとえば手術前の臨床検査。

1^1Q3600S^X5^198911051030

11/5/89の午前10:30より、5時間に渡って、1時間ごとにサービスを実行する。血糖採取など。

1^1QAM^X3^11111111S~1^1QOD^14D^111111if K+>5.5.

3日間毎朝サービスを実行し、血清カリウムが5.5を越える場合、4日間(つまり最大2回)1日おきにサービスを朝に実行する。

1111198812120800^111111Trough specimen for MICAC~11111111R

12/12/1988午前8:00きっかりに採血し、ルーチンにしたがい結果を報告する。

(処方指示における使用例)

1^1TID&PC^1D3^120000827

一日3回毎食後服用 3日分

1^1DID&PCM, PCV^1D14^120000827

一日2回朝夕食後服用14日分

1^1QID&PC, HS^1D28^120000827

一日4回毎食後および就寝前服用28日分

1^1Q12H^1D7^120000827

一日2回12時間毎服用7日分

1^1PRN^120000827^11PRN^1PRNpain

痛い時服用

6.4 HL7以外のテーブルの使用

当規約においては、HL7の標準定義テーブルおよびユーザ定義テーブル以外のテーブルを使用する事ができる。

HL7で定義されたテーブル以外のテーブルを使用する場合、当該テーブルを規定している規約を明らかにする必要がある。要素として <name of coding system> を有するデータタイプ

においては、ここにテーブルを規定した規約をあらわす略号を設定する。

当規約においては、次の略号を使用するものとする。

MR9P: MERIT-9 処方オーダ Ver 1.1 で規定されている事を示す

JHSP: 当規約で規定したことを示す

7. 関連セグメント詳細

7.1 MSH - Message Header Segmentメッセージ・ヘッダ・セグメント

MSHセグメントは、メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。

図 2-8. MSH attributes MSH属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	1	ST	R	R		00001	Field Separator フィールド区切文字	
2	4	ST	R	R		00002	Encoding Characters コード化文字	
3	180	HD	O	O		00003	Sending Application 送信アプリケーション	
4	180	HD	O	O		00004	Sending Facility 送信施設	
5	180	HD	O	O		00005	Receiving Application 受信アプリケーション	
6	180	HD	O	O		00006	Receiving Facility 受信施設	
7	26	TS	O	R		00007	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間	
8	40	ST	O	O		00008	Security セキュリティー	
9	7	CM	R	R		00009	Message Type メッセージ型	
10	20	ST	R	R		00010	Message Control ID メッセージ制御ID	
11	3	PT	R	R		00011	Processing ID 処理ID	
12	8	ID	R	R		00012	Version ID バージョンID	
13	15	NM	O	O		00013	Sequence Number シーケンス番号	
14	180	ST	O	O		00014	Continuation Pointer 継続ポインタ	
15	2	ID	O	O		00015	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型	
16	2	ID	O	O		00016	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型	
17	2	ID	O	N		00017	Country Code 国コード	
18	16	ID	O	R	Y	00692	Character Set 文字セット	
19	60	CE	O	O		00693	Principal Language of Message 主要言語	
20	16	ID	O	O		01317	Alternate Character Set Handling Scheme 文字セット操作法	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used usually. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times
(integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

MSHフィールド定義

MSH-1 Field Separator フィールド区切文字 (ST) 00001

定義： セグメントIDと最初の実フィールド(MSH-2-コード化文字)間のセパレーター。そのようなセパレータとしての他に、残りのメッセージでセパレータとして使う文字を定義する。推奨値は | (ASCII 124)である。

MSH-2 Encoding Characters コード化文字 (ST) 00002

定義： 次の順番で並べられた4文字、つまり、成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータ。推奨値は ^~& (ASCII 94,126,92 and 38) である。メッセージ区切文字の解説を参照。

MSH-3 Sending Application 送信アプリケーション (HD) 00003

定義： 送信アプリケーションを識別するために用いる。

MSH-4 Sending Facility 送信施設 (HD) 00004

定義： 送信元施設を区別するため送信側の施設コードや略称などをセットする。

- MSH-5 Receiving Application 受信アプリケーション (HD) 00005
 定義： 受信アプリケーションを識別するために用いる。
- MSH-6 Receiving Facility 受信施設 (HD) 00006
 定義： 受信先施設を区別するため受信側の施設コードや略称などをセットする。
- MSH-7 Date/time Of Message メッセージ日時 (TS) 00007
 定義： 送信システムがメッセージを作成した日時。時間帯を指定した場合、それはメッセージ全体でデフォルトの時間帯として使われる。
- MSH-8 Security セキュリティ (ST) 00008
 定義： セキュリティの実装に関する情報であるが、その使用法は未定である。
- MSH-9 Message Type メッセージ型 (CM) 00009
 Components: <message type (ID)> ^ <trigger event (ID)>
 定義： 第1成分は、テーブル0076 - メッセージ型にリストされているメッセージ型である。第2成分は、テーブル0003 - イベント型コードにリストされているトリガー・イベント・コードである。受信システムはこのフィールドを使い、認識すべきデータ・セグメントを知り、また、これを転送するアプリケーションを知る。

テーブル 0076 - Message type メッセージ型 (処方関連のみ掲載)

Value	Description
ADR	ADT response 患者管理(ADT)応答
ORM	Order message オーダーメッセージ
ORR	Order acknowledgment message オーダ肯定応答メッセージ
OSQ	Order status query オーダ状況問合せ
OSR	Order status response オーダ状況応答
QRY	Query, original Mode 問合せ

テーブル 0003 Event type イベント型 (処方関連のみ掲載)

Value	Description
A19	QRY/ADR - Patient query 患者の問合せ
O01	ORM - Order message オーダーメッセージ
O02	ORR - Order response 一般オーダ応答メッセージORMに対する応答
Q06	OSQ/OSR - Query for order status オーダ状況の問合せ

注 (処方)

処方指示メッセージ : ORM^O01 応答 : ORR^O02
 患者情報照会メッセージ : QRY^A19 応答 : ADR^A19
 オーダ状況紹介メッセージ : OSQ^Q06 応答 : OSR^Q06

- MSH-10 Message control ID メッセージ制御ID (ST) 00010
 定義： メッセージを一意に識別する番号または他の識別子。

- MSH-11 Processing ID 処理ID (PT) 00011

定義： メッセージを処理するかどうか決めるのに使用する。

テーブル 0103 - Processing ID 処理ID

Value	Description
D	Debugging デバギング
P	Production プロダクション
T	Training トレーニング

テーブル 0207 - Processing mode 処理モード

Value	Description
A	Archive
R	Restore from archive
I	Initial load

not present	Not present (the default, meaning <i>current</i> processing)
-------------	--

注（処方） 処方データにおいては、第二成分（処理モード）は使用しない。
 第一成分（処理ID）で受信側のシステムの動作を示す。
 D： 送信されたデータを無視する
 P： 通常の動作を行う
 T： 送信されたデータにより調剤は行うが、統計には反映しない

MSH-12 Version ID バージョンID (ID) 00012

定義： 受信システムは、バージョンIDを認識しメッセージが確実に解釈されるようにする。
 1本規約のバージョンIDは2.3.1を指定する。

テーブル 0104 - Version ID バージョンID

Value	Description
2.0	Release 2.0 September 1988
2.0D	Demo 2.0 October 1988
2.1	Release 2.1 March 1990
2.2	Release 2.2 December 1994
2.3	Release 2.3 March 1997
2.3.1	Release 2.3.1

MSH-13 Sequence Number シーケンス番号 (NM) 00013

定義： 値がヌルでなければ、シーケンス番号管理が行われているものとする。送信側では受信アプリケーション・施設毎にシーケンス管理することとし、増分は1とする。

MSH-14 Continuation Pointer 継続ポインタ (ST) 00014

定義： アプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用する。
 施設にて定義（但し、推奨しない）。

MSH-15 Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型 (ID) 00015

定義： このメッセージに回答して受諾肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。
 拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値をテーブル0155に示す。

MSH-16 Application Acknowledgment Type アプリケーション肯定応答型 (ID) 00016

定義： このメッセージに回答してアプリケーション肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値をテーブル0155に示す。

テーブル 0155 - Accept/application acknowledgment conditions アプリケーション肯定応答型

Value	Description
AL	Always 常に
NE	Never 決してない
ER	Error/reject conditions only エラー/リジェクト状態のみ
SU	Successful completion only 正常終了時のみ

注記： MSH-15とMSH-16が省略(または両方ともnull)の場合、オリジナルの肯定応答モード規則が使われる。

注（処方） 処方監査結果の応答については、このフィールドで指定する。

MSH-17 Country Code 国コード (ID) 00017

定義： メッセージの発信国を定義する。主に通貨単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される。ISO 3166は、使用可能な国コードのリストを提供する。
 通常は本フィールドは使用しない。

MSH-18 Character Set 文字セット (ID) 00692

定義： メッセージ全体に使用する文字セットコードを定義する。有効な文字セットをテーブル0211に示す。

テーブル 0211 - Character sets 文字セット

Value	Description
-------	-------------

ASCII	The printable 7-bit ASCII character set . (省略時)
8859/1	The printable characters from the ISO 8859/1 Character set
8859/2	The printable characters from the ISO 8859/2 Character set
8859/3	The printable characters from the ISO 8859/3 Character set
8859/4	The printable characters from the ISO 8859/4 Character set
8859/5	The printable characters from the ISO 8859/5 Character set
8859/6	The printable characters from the ISO 8859/6 Character set
8859/7	The printable characters from the ISO 8859/7 Character set
8859/8	The printable characters from the ISO 8859/8 Character set
8859/9	The printable characters from the ISO 8859/9 Character set
ISO IR14	Code for Information Exchange (one byte) (JIS X 0201-1976)
ISO IR87	Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0208-1990)
ISO IR159	Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0212-1990)

注: 文字セットにかかわらずフィールド区切り文字は 7-bit ASCII 文字セットである。

異なる文字セットの反復はデータ型PNとXPNのみに適用される。本フィールドの指定がないもしくは反復の第一成分がNullの場合はsingle-byte character set (ASCII (ISO IR-6))が適用される。本フィールドが出現し第一成分が特定される場合この文字セットがメッセージのデフォルト文字セットとなる。これはシングルバイト文字セットでなければならない。(例えば ISO-IR 6, ISO-IR 13, ISO-IR 14, ISO-IR 100, etc.) 第二第三成分は代替文字セットが使用できダブルバイト文字セットも含まれる。(例えば ISO IR87) デフォルト文字セットは常にシングルバイト文字セットであり、ISO-IR 6 (ISO 646) or ISO-IR 14 (JIS X 0201-1976)の G0 域である。

半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。漢字を使用する場合~ISO IR87が一般的で、さらにJIS補助漢字を使用する場合続けて~ISO IR159とする。

MSH-19 Principal language of message 主要言語 (CE) 00693

定義: メッセージの主要言語を定義する。コードはISO 639を使用。

MSH-20 Alternate character set handling scheme 文字セット操作法 (ID) 01317

定義: 文字セットを切り替えるためのエスケープシーケンス方式を定義する。ISO 2022-1994を使用する。

7.2 NTE - Notes and Comments Segment 注釈コメントセグメント

注釈とコメントを送るためのメッセージに共通のフォーマットである。
 他のメッセージやセグメントで表現可能な事項をNTEセグメントで代用してはならない。受信アプリケーションではNTEセグメントの内容を表示や印刷する以外のシステム的取り扱いはされない事を前提とする。

図 2-22. NTE attributes NTE属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		00096	Set ID - NTE セットID-NTE	
2	8	ID	O	O		00097	Source of Comment コメント発生源	
3	64k	FT	O	O	Y	00098	Comment コメント	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

NTEフィールド定義

NTE-1 Set ID - NTE セットID-NTE (SI) 00096

定義: ひとつのメッセージ中に複数のNTEセグメントが含まれる場合に使用される。番号付けについては、アプリケーション・メッセージの定義に記述されなければならない。

NTE-2 Source Of Comment コメント発生源 (ID) 00097

定義: コメントの発生源を明示する。これは導入の際にサイトで拡張される可能性がある。

テーブル 0105 - Source Of Comment コメント発生源

Value	Description
L	Ancillary (filler) department is source of comment 実施者がコメント発生源である
P	Orderer (placer) is source of comment 依頼者がコメント発生源である
O	Other system is source of comment 他のシステムがコメント発生源である

NTE-3 Comment コメント (FT) 00098

定義: 先行するセグメントに従属するコメント。

注 (処方) MSHセグメントに従属する場合、処方箋全体にかかるコメントを設定する。調剤に関する特別支持は、次のコードで設定する。

表7.2.1 調剤特別指示

Value	Description
A	別包指示
B	一包化指示
C	混合指示
D	粉碎指示

7.3 PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント

PIDセグメントは、患者識別情報を通信する主要な手段としてすべてのアプリケーションによって使用される。このセグメントは患者を永久に識別する情報と調査情報を含むが、この大部分はそれほど頻繁に変化しない。

図 3-2. PID attributes PID属性

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	4	SI	O	O		00104	Set ID - Patient ID セットID-患者ID	
2	16	CK	O	O		00105	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)	
3	20	CX	R	R	Y	00106	Patient ID (Internal ID) 患者ID(内部ID)	
4	12	ST	O	O	Y	00107	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID	
5	48*n	XPN	R	R	Y	00108	Patient Name 患者氏名	
6	48	XPN	O	N		00109	Mother's Maiden Name 母親の旧姓	
7	26	TS	O	R		00110	Date/Time of Birth 生年月日年齢	
8	1	IS	O	R		00111	Sex 性別	
9	48	XPN	O	N	Y	00112	Patient Alias 患者別名	
10	1	IS	O	N		00113	Race 人種	
11	106	XAD	O	O	Y	00114	Patient Address 患者住所	
12	4	IS	O	N		00115	County Code 郡コード	
13	40	XTN	O	O	Y	00116	Phone Number - Home 電話番号-自宅	
14	40	XTN	O	O	Y	00117	Phone Number - Business 電話番号-勤務先	
15	60	CE	O	N		00118	Primary Language 言語-患者	
16	1	IS	O	N		00119	Marital Status 婚姻状況	
17	3	IS	O	N		00120	Religion 宗教	
18	20	CX	O	O		00121	Patient Account Number 患者会計番号	
19	16	ST	O	N		00122	SSN Number - Patient SSN番号-患者	
20	25	CM	O	N		00123	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号-患者	
21	20	CX	O	N		00124	Mother's Identifier 母親の識別子	
22	3	IS	O	N		00125	Ethnic Group 人種のグループ	
23	60	ST	O	N		00126	Birth Place 誕生場所	
24	2	ID	O	N		00127	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識	
25	2	NM	O	N		00128	Birth Order 誕生順序	
26	4	IS	O	N	Y	00129	Citizenship 市民権	
27	60	CE	O	N		00130	Veterans Military Status 退役軍人状況	
28	80	CE	O	O		00739	Nationality 国籍	
29	26	TS	O	N		00740	Patient Death Date and Time 患者死亡日時	
30	1	ID	O	N		00741	Patient Death Indicator 患者死亡識別	

Optionality

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7

Japan (JAHIS仕様での取り扱い)

- R - required
- O - optional
- C - conditional on the trigger event or on some other field(s)
- X - not used with this trigger event
- B - left in for backward compatibility with previous versions of HL7
- N - not used useally. use only on the site

Repetition

- N - no repetition
- Y - the field may repeat an indefinite or site determined number of times (integer)- the field may repeat up to the number of times specified in the integer

PIDフィールド定義

PID-1 Set ID - Patient ID セットID-患者ID (SI) 00104

定義: セグメントの反復が許されるメッセージについては、反復を識別するためにセットIDフィールドが使用される。例えば、交換及び照会のトランザクションは、セットID値1、2、3、などの多数のPIDセグメントを持つことができる。

PID-2 Patient ID (external ID) 患者ID(外部ID) (CK) 00105
 定義：患者がオフィスなどの外部の別の施設からきていればその施設のIDなどをここに表現する。これは多数の異種の会社や施設が共有することができるIDとなる。

PID-3 Patient ID (internal ID) 患者ID(内部ID) (CX) 00106
 定義：患者を一意的に識別するため施設によって使用されるID(たとえば患者IDやカルテ番号、請求書番号など)。患者番号を設定。
 ORMメッセージを使用せず伝票による検査依頼で本フィールドに該当する情報が得られない場合、ラボ側により付番されるIDを代入し付番組織を明示する。

PID-4 Alternate Patient ID - PID 代替患者ID (ST) 00107
 定義：第3のIDが患者を識別するために必要とされるかもしれない。例えば訪問番号、訪問期日あるいは社会保障番号を含んでいる。患者IDとカルテ番号を併用するようならば従となるIDはこのフィールドを使用する。

PID-5 Patient Name 患者氏名 (XPN) 00108
 成分： <family name姓 (ST)> ^ <given name名 (ST)> ^ <middle initial or name (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) (ST)> ^ <name type code名前タイプ (ID)> ^ <name representation code名前表示(ID)>
 本規約では以下の形式で利用する。
 成分： <姓> ^ <名> ^ <ミドルネーム> ^ ^ ^ L ^ <名前表示コード>
 複数の名前表示形式が存在する場合には、反復セパレータにより複数記述する。また、少なくとも、英数字もしくは表音文字による患者氏名が記述されなければならない。

テーブル 0200 - Name Type 名前タイプコード

Value	Description
A	Alias Name 別名
L	Legal Name 法律上の名前
D	Display Name 表示名
M	Maiden Name 旧姓(婚姻前の名前)
C	Adopted Name 養子による名前

テーブル 4000 - Name Representation Code 名前表示コード

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイトの英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc.) 表音文字(ASCII,仮名)

定義：患者氏名をMSH-18文字セットで指定した文字コードで使用する。例えばMSH-18にASCII~ISO IR87をセットした場合、PID-5はYamada^Tarou^^^^L^A~山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^Pとなる。反復の順序には意味を持たない。姓と名の区別が困難な場合、姓のフィールドを代用するものとする。半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。

患者の名札や検査検体のラベルなどと本フィールドの内容が同じであるよう、法律上の名前「L」を用いることが望ましく、運用に注意すべきである。

PID-6 Mother's Maiden Name 母親の旧姓 (XPN) 00109
 定義：母親の旧姓、同じラストネームを持つ患者を明確に識別するために使用する。本フィールドに出現する名前タイプは「M」である。
 通常は本フィールドは使用しない。

PID-7 Date/Time Of Birth 生年月日 (TS) 年齢 00110
 定義：患者の生年月日、新生児などは誕生時刻まで記述。
 生年月日に続けて年齢nnnuを記載することもできる、また年齢単位uとして Y 年令、L 月令、W 週令、D 日令を使用、省略時は年令Yとする(YYYYLLDDHHMMSS^nnnu)。例えば19900301^7 1990年3月1日生7才、^10 10才、^5D 5日齢など、和暦は不可。
 本規約では「YYYYMMDD」形式による、患者の生年月日。

PID-8 Sex 性別 (IS) 00111

定義：患者の性別、テーブル0001－性別を推奨する。

使用者定義テーブル 0001 Sex - 性別

Value	Description
F	Female女性
M	Male男性
O	Otherその他
U	Unknown未知

PID-9 Patient Alias 患者の別名 (XPN) 00112

通常は本フィールドは使用しない。

PID-10 Race 人種 (IS) 00113

定義：患者の同意を得て使用することができる。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-11 Patient Address 患者住所 (XAD) 00114

定義：患者の現住所。

PID-12 County Code 郡コード (IS) 00115

定義：患者の郡コード。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-13 Phone Number - Home 電話番号－自宅 (XTN) 00116

PID-14 Phone Number - Business 電話番号－勤務先 (XTN) 00117

PID-15 Primary Language 言語－患者 (CE) 00118

定義：患者の主要な言語。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-16 Marital Status 婚姻状況 (IS) 00119

使用者定義テーブル 0002 - Marital Status 婚姻状況

Value	Description
A	Separated 別居
D	Divorced 離婚
M	Married 既婚
S	Single 未婚
W	Widowed 死別

PID-17 Religion 宗教 (IS) 00120

通常は本フィールドは使用しない。

PID-18 Patient Account Number 患者会計番号 (CX) 00121

定義：料金、支払いなどがすべて記録される勘定によって割り当てられる数字。患者の会計を識別するために使用される。

PID-19 SSN Number - Patient SSN番号－患者 (ST) 00122

定義：患者の社会保障番号。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-20 Driver's License Number - Patient 患者の運転免許証番号 (CM) 00123

定義：患者の運転免許証番号。いくつかのサイトは、患者を識別する一意的な番号としてこれを使用してもよい。第2の成分のデフォルトは患者が登録されている州である。

通常は本フィールドは使用しない。

PID-21 Mother's Identifier 母親の識別子 (CX) 00124

定義：例えば新生児用にリンク・フィールドとして使用される。典型的に、患者IDあるいは会計番号が使用されるかもしれない。